

製品名	ウルトラGゼロコート
種別	ウルトラシリカ複合艶消し無機塗料
荷姿	15kg、10kg、5kg
用途	外壁
適用基材	一般外壁、モルタル、窯業系サイディング、無機系・光触媒サイディング、金属系サイディング、吹付けタイル、スタッコ、リシン、コンクリートなど

工程	材料	調合	所要量 / m <sup>2</sup> / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗材をご使用ください。						
上塗り	ウルトラGゼロコート	15kg	0.12~0.15kg (100~125㎡)	刷毛 中毛ローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	2~8%					

### 注意事項

- 中塗りにセラベースシリーズはご使用になれません。
- ウルトラGゼロコートの上にウルトラTOP等の保護コーティング材は施工しないで下さい。塗膜性能の発揮を阻害する恐れがあります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。下地モルタルは十分に乾燥させてください。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様になり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や塗膜の乾燥状態を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分してください。排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。